

最先端共同 HPC 基盤施設における次期システム名称について

スーパーコンピューティングチーム

Oakforest-PACS (OFP) システムの後継システムとして最先端共同 HPC 基盤施設(JCAHPC)において共同調達(筑波大学計算科学研究センター、東京大学情報基盤センター)を行い、納入システムが決定¹した「最先端共同 HPC 基盤施設スーパーコンピュータシステム(OFP-II)」につきまして、JCAHPC においてシステム名称を "Miyabi" (みやび)とすることを決定²しました。

Miyabi システム³は、米国 NVIDIA 社による超高速 CPU-GPU 専用リンク NVLink-C2C で接続した GH200 Grace-Hopper Superchip を搭載した計算ノード 1,120 ノード (Miyabi-G)と、米国 Intel 社による Xeon Max 9480 を 2 基搭載した計算ノード 190 ノード (Miyabi-C)を InfiniBand NDR200 で結合した、倍精度演算性能 80.1 PFLOPS を有する超並列クラスタ型スーパーコンピュータであり、GH200 を搭載した国内初の汎用大規模システムです。さらに全ドライブに NVMe-SSD を採用した 10.3 PB の並列ファイルシステムを備えます。

"Miyabi" という名前には、単に理論性能が優れているというだけでなく、その持てる能力を難なく発揮できるように、という思いが込められています。両センターは緊密な協力のもと新システム Miyabi の導入および運用を遂行し、「計算・データ・学習」融合による、高度に洗練された計算科学を推進することによって、安心・安全・信頼に基づく社会の実現に貢献していきます。

¹ <https://www.jcahpc.jp/pr/news-20240219.html>

² <https://www.jcahpc.jp/pr/news-20240401.html>

³ <https://www.jcahpc.jp/supercomputer/miyabi.html>